



ぱんだ・ぞうぐみだより

きらら保育園
令和8年3月31日発行

まだ少し寒さを感じますが、差し込む日差しが柔らかく、春を感じます。
 春、進級したばかりのぞう組の子どもたちは、自分たちが保育園で一番のお兄さんお姉さんという気持ちでいっぱい。ぱんだ組の子どもたちは、これから楽しいことがいっぱい、ワクワクな気持ちとちょっぴり不安もありました。でも4人の子どもたちはいつも元気いっぱい。どんなことにも積極的に前向きでした。たくさんの経験・体験を通して、心も体も大きく成長し、自信へとつながりました。「自分たちで育てた野菜はとっても美味しかった。」と話し、苦手な食材にも挑戦しています。
 小さなお友だちの面倒を見てあげたり、問題が起きると自分たちで話し合っ、自分たちで解決しようとしたりすることもできるようになりました。
 この一年間、子どもたちとともに過ごした毎日は、たくさんの笑顔と成長にあふれていました。一人ひとりが自分のペースで前に進み、できることが増えていく姿をそばで見守ることができ、嬉しく思います。
 保護者の皆様のご理解とご協力に、心から感謝いたします。

前崎美由起

子ども達の一番楽しかったこと

はなちゃん：「えーっ選べないよ。お出かけもしたし、色んなこと全部が楽しかった。」

おとくん：「みんなで一緒に、いろいろ遊んだこと。」

みやびくん：「やっほぼくは、クレヨンでいっぱいお絵描きしたこと。」

いぶきちゃん：「クリスマスの時に、プレゼントの大きな箱を開けた時」



みんなが、全部が楽しかったと話してくれ嬉しかったです。一緒に遊んだこと、お出かけしたことなど、楽しかったことをたくさん思い出しながら答えてくれました！

春

男鹿の森や、田植え、さつまいもの苗植えなど、自然の中でいろいろな体験をして、楽しかったね。



夏



夏祭りで、みんなで作ったおみこし、元気いっぱい踊った爽涼鼓舞。楽しかったプール遊び、お野菜も収穫したね。

秋

稲刈り、さつまいも掘り、収穫の喜びを味わいました。ハロウィンでは、アキビのお姉さんたちに、メイクをしてもらったね。



冬



ドキドキした発表会。大成功したね。みんなでクッキングもしました。お正月遊びや雪遊び、張り子で鬼のお面づくりや、和紙を貼ってひな人形作りも楽しかったね。